

2019年7月23日(火) 第14号

# 共同研究推進委員会通信

発行：教育学部共同研究推進委員会/共同研究推進委員長

## 第2回地域連携部門会議を開催

7月23日(火)、共同研修推進委員会・地域連携部会の第2回会議が開催されました。議題は(1)前学期の連携地域での取組について、(2)今年度の報告会の持ち方についてでした。

前学期の連携地域での取組内容を一部紹介します。

- ・石垣市大浜中学校では「集団づくり」をテーマに校内研修に取り組んだ。他の学校へも広げようと試みている。
- ・宮古島市はここ数年、大学からの派遣回数が増えている。毎年派遣旅費を出してもらっており予算も増えている。夏休みにはスポーツ指導者講習も予定しており、体力と学力の両面での取組を行っていきたい。
- ・大宜味村ではこれまでどおり教育委員会との連携で様々な取り組みを行う予定である。キャリア教育の一環として大宜味小中学校の児童生徒が「琉球大学体験」を実施した。
- ・島尻研究所では研究員の指導に大学の先生方が関わっている。今年度の新しい事業としてはアドバイザースタッフ派遣制度を活用して「島尻教育研究所夏期自主参加講座」を7月23日～7月31日までの日程で行う予定である。内容は「特別の教科道徳」「授業づくり」「小学校算数」「中学校国語」「外国語・英語」「特別支援教育」「教育相談」となっている。

- ・沖縄市の美東中学校では大学生が数学の教育支援を行っている。
- ・宜野湾市教育研究所でも大学の教員が研究員の指導に関わっている。
- ・中城村では「放課後子ども教室」や「無料塾」などの取組を行っている。

報告会は来年の3月7日(土)に実施することになりました。連携地域の取組の中から2～3件の取組を発表してもらい、小グループで意見交換や情報交換を行う「参加型報告会」にすることになりました。また、その後、講演会も行う予定です。大学の先生方にも地域連携活動を知ってもらうよい機会にもなりますし、現場の先生方との交流の場にもなります。是非参加していただきたいと思っています。



📅 教育支援室にある7月後半のカレンダーです。付箋紙には地域連携活動の予定がびっしりと書かれています。何が書いているか分からないと思いますが…

(文責：共同研究推進委員長)